

## II 暮らしの向上

### 7 スポーツの振興

主担当部局長名  
暮らし創造部長 中 幸司



奈良マラソン2015

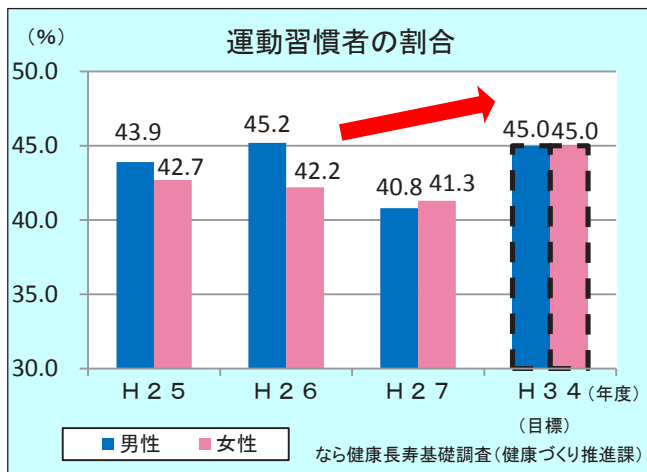
#### 目指す姿

「活き活きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県」を実現するため、生涯にわたり、「県民のだれもが、いつでも、どこでも、運動・スポーツに親しめる環境づくり」を目指します。

#### これまでの成果

- ・奈良マラソンでは、全都道府県からのエントリーがあっただけでなく、旅行会社と提携し、パック旅行を企画したことにより、奈良マラソンへの海外からのエントリー数が235人(H26年)から413人(H27年)に増加しました。
- ・県内トップレベルのジュニア選手等30人を、優れたトレーニング環境や優秀な指導者を有する国立スポーツ科学センター(JISS)に新たに派遣し、強化トレーニングを実施しました。
- ・「トレーニングセンター構想検討委員会」の提言や有識者との意見交換、民間事業者からのヒアリング、大学との調査・検討を実施し、今後はスポーツ医学に基づく研究・開発を推し進め、幼児期からの年齢・発達段階に応じた効果的なトレーニング手法や理論を「奈良メソッド」として確立することを目指すとともに、その「奈良メソッド」を検証し、実践する場も必要となることから「奈良県トレーニングセンター」を「奈良県スポーツアカデミー」と改め、その必要な機能や施設の整備を検討していくこととしました。

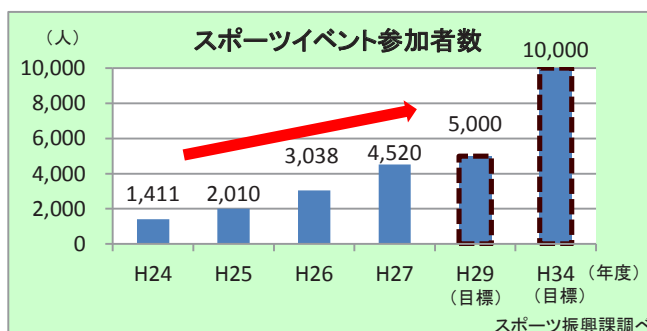
### 1. 政策目標達成に向けた進捗状況



|    |   |
|----|---|
| 目標 | 1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上実施し、1年以上継続している人の割合を平成34年度までに45%に増やします。(H25年度:43.1%(女性42.7%、男性43.9%))                                     |
| 取組 | 運動・スポーツを楽しむ環境づくりや機会の提供に取り組みました。   |
| 成果 | 平成27年度の運動習慣者の割合は、60歳以上の男性を中心に低下したことから、平成26年度を下回りました。より一層、運動・スポーツへの関心を高めるため、新たな取組として、相撲やラグビー、女子ホッケー等、トップアスリートとの交流イベント等を実施しました。 |

### 2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

|      |  |
|------|--|
| 戦略目標 | <p>①総合型地域スポーツクラブ数を平成29年度までに100クラブ、平成34年度までに150クラブに増やし、だれもがいつでも気軽にスポーツを楽しむことのできる場を提供します。(H26年度:61クラブ)</p> <p>②スポーツイベント(総合型地域スポーツ交流大会)の参加者数を平成29年度までに5,000人、平成34年度までに10,000人に増やし、スポーツツーリズムを推進します。(H25年度:2,010人)</p> <p>③県内外で活躍できるスポーツ選手を育成する体制の整備を進め、競技力の向上を図り、国民体育大会での総合成績を平成34年度までに20位台に上昇させます。(H26年度:35位)</p> |
|------|--|



|    |   |
|----|---|
| 取組 | スポーツイベント(総合型地域スポーツクラブ交流大会)を充実させました。(①)  |
| 成果 | 県内の総合型地域スポーツクラブ間での交流が活発化してきたことにより、スポーツイベントの参加者数は平成24年度の1,411人から、平成27年度は4,520人へと年々増加しています。 |